

# 第3次十和田市ごみ減量行動計画を策定しました

## 策定の趣旨

資源循環型社会※の形成を目指し、更なるごみの減量化・資源化を図るため、これまでの取組結果を踏まえ、具体的な施策や目標値を設定します。

※循環型社会とは … 製品等がごみとなることを抑制し、排出されたごみはできるだけ再使用・再利用する。それでも利用できないものは適正処分をすることにより天然資源の消費抑制、環境への負荷を低減する社会をいいます。

## 目標

平成27年度実績を基準に、平成29年度から平成31年度までの3年間で達成を目指す、2つの目標を設定します。

### 1人1日当たりのごみ排出量※1

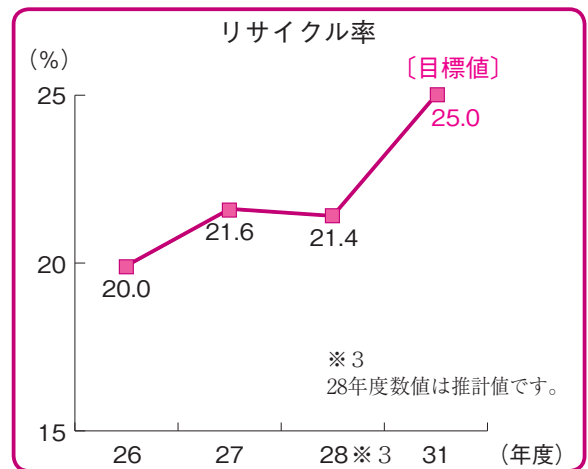
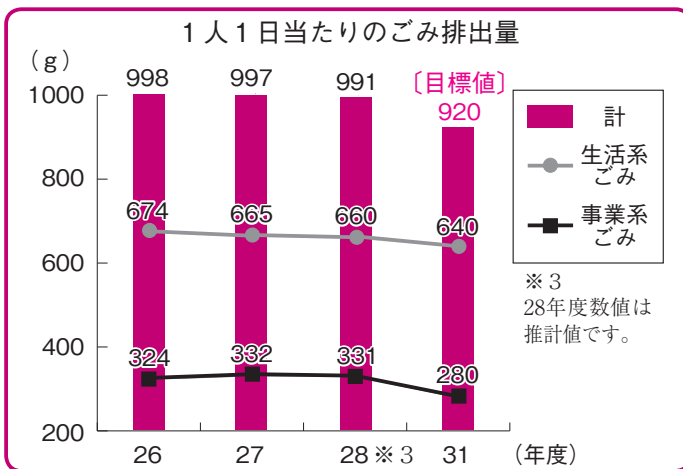
920g以下

※1 ごみ排出量 = 総排出量 ÷ 人 ÷ 365

### リサイクル率※2

25%以上

※2 リサイクル率 = 再資源化量 ÷ 総排出量



## 具体的施策と実践内容

市民・事業者・行政の3者が連携し、3つの実践内容を基に、具体的な取り組みを推進し、継続的に具体的施策の質の向上を目指します。

	市民の取り組み	事業者の取り組み	行政の取り組み
実践内容1 ごみ減量化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグの持参</li> <li>詰替え商品の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の少ない商品の製造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ減量</li> <li>衣類回収</li> <li>オフィス町内会加入促進</li> </ul>
実践内容2 リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の徹底</li> <li>資源集団回収や店頭回収の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル製品の販売</li> <li>オフィス町内会の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済小型家電回収</li> <li>資源集団回収</li> </ul>
実践内容3 3Rに関する意識啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみカレンダーの活用</li> <li>ふるさと出前きらめき講座の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン購入の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Rの取り組み（下記参照）を推進</li> <li>ごみに関する勉強会の催し</li> </ul>

## ご家庭ですぐできる3Rの取り組み

- Reduce** (リデュース) ごみになるものを減らす
  - ・マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない。
  - ・食材を使いきる、料理は食べきる、生ごみは水気をきるの「3つのきる」を実践
- Reuse** (リユース) ものをくりかえし使用する
  - ・フリーマーケットやリサイクルショップを上手に活用
  - ・着なくなった服は、捨てずに衣類回収ボックスへ
- Recycle** (リサイクル) 資源として再び利用する
  - ・PTA、町内会等で行っている資源集団回収に参加
  - ・お買い物のついでにスーパーの店頭回収を活用
  - ・使用済小型家電は燃えないごみではなく、小型家電回収ボックスを利用